

大倉集古館

の

大倉

新春を寿ぎ、春を待つ

2024 1|23_{TUE} - 3|24_{SUN}

| 開館時間 | 10:00~17:00 (入館は16:30まで)
| 入館料 | 一般 1,000円 大学生・高校生 800円 中学生以下無料
| 休館日 | 毎週月曜日(休日の場合は翌火曜日)

※同会期中のリピーターは200円引き
※20名様以上の団体は100円引き
※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方とその同伴者1名は無料
※お着物(和装)でご来館の方は200円引き(割引併用不可)
※ミュージアムパスポート5,500円
※オークラ東京とのセット鑑賞券(ランチセット5,500円、茶菓セット3,000円)

主催:公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館
協力:株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、大成建設株式会社

上:《扇面流図屏風》(右隻)宗達派、江戸時代・17世紀
下:《夜桜》(左隻)横山大観筆、昭和4年(1929)

大倉集古館
OKURA MUSEUM OF ART

大倉集古館の春

新春を寿ぎ、春を待つ

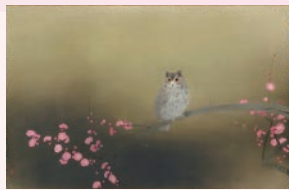


①青緑山水図



②色絵芙蓉手花鳥図大皿

令和6年の春を祝し、干支や吉祥、花鳥風月をテーマとした絵画を中心に展覧いたします。新春の造形として、まずは末広りの扇の作品から。不思議な縁によって大倉集古館へ収蔵された宗達派による《扇面流図屏風》を始め、日本や中国で作られた扇絵のコレクションを展示いたします。また、本年の干支である辰に因んだ伝説の生き物・龍をテーマにした作品も。大倉集古館だからこそ見られる中国伝統の衣装や珍しい古代の硯などもご紹介。そして、新春から春にかけての美しい景物を描いた作品では、名品として名高い横山大観筆《夜桜》を展示。他にも墨の諧調で春を知らせる水墨画や、彩りで春を魅せる着色の作品を取り上げ、新春を寿ぎ、来る春を待つ時期にふさわしい当館所蔵品をお楽しみいただきます。



③木菟図



④扇面流図屏風



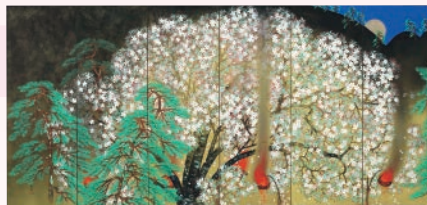
⑦夜桜



⑤蜺子和尚・龍虎図(3幅対のうち)



⑥蟒袍



戸室玄ピアノ・リサイタル ～音楽と美術のタペ～

日 時 | 2月13日(火) 17:45開場、18:30開演
出 演 | 戸室玄
会 場 | 大倉集古館 展示室
料 金 | 3,500円(含入館料、現金のみ)
定 員 | 70人(事前申込制、先着順・全席自由)
お申込み | 大倉集古館
TEL:03-5575-5711(月～金10:00～17:00)



戸室 玄

主な出陳作品

- ①「青緑山水図」(《清朝名人便面集珍》のうち) 赫奕(1655～1731)筆、中国/清時代・17～18世紀
- ②《色絵芙蓉手花鳥図大皿》伊万里、江戸時代・18世紀
- ③《木菟図》小林古径筆、昭和4年(1929)
- ④《扇面流図屏風》宗達派、江戸時代・17世紀
- ⑤《蜺子和尚・龍虎図》曾我二直庵筆、江戸時代・17世紀
- ⑥《蟒袍》清時代末～中華民国時代・20世紀
- ⑦《夜桜》横山大観筆、昭和4年(1929)

※表記のないものは全期間展示。
※展示作品・展示期間は、やむを得ない事情により予告なく変更される場合がございます。

担当学芸員によるギャラリートーク

日 時 | 2月2日(金)、2月22日(木)、3月19日(火) 各14:00から(約1時間)
担 当 | 四宮美帆子(当館主任学芸員)
会 場 | 大倉集古館 展示室 1階展示室EV前にお集まりください。
お申込み | 不要(ただし入場には入館券が必要です)



大倉集古館
WEBサイト



東京メトロ
○東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」中央改札口(泉ガーデン方面)より5分
○東京メトロ日比谷線「神谷町駅」4b出口より7分
○東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王駅」13番出口より10分
○東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」3番出口より10分
○東京メトロ日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」A2出口より8分



公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館
TEL:03-5575-5711(代表)
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3
(オークラ東京前)
<https://www.shukokan.org/>